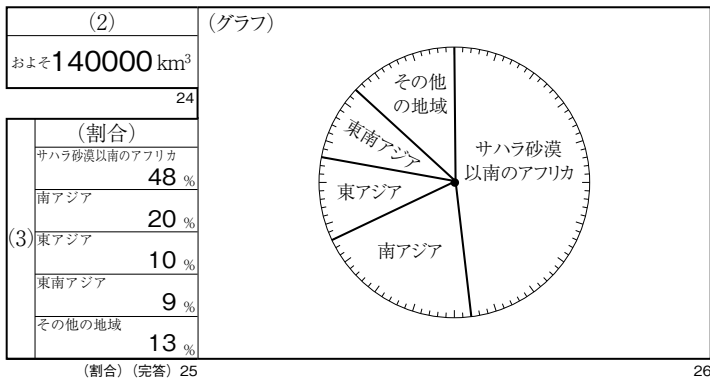


小学6年 適性検査A — 解答と解説

1

(1)		
①おおよそ 24.5 (kg)	② 3500 mL	③【例】 食べ物にふくまれる水分を体内に取り入れる。
21	22	23



(4)					
㊦ ×	㊧ ×	㊨ ○	㊩ ×	㊪ ○	㊫ ×
27	28	29	30	31	32

(5)																				
①	水	を	く	ん	だ	ド	ラ	ム	を	転	が	し	て	運	べ	る	の	で	、	
	水	を	運	ぶ	の	に	か	か	る	体	へ	の	負	担	や	時	間	を	減	
	ら	す	こ	と	が	で	き	る	か	ら	。									
	40																			50
																				33

(5)		
② ㊦ 53.6 (%)	㊧ 25 (%)	㊨ 17.2 (%)
34	35	36

(6)																				
日	本	の	川	は	上	流	と	下	流	の	標	高	差	が	大	き	く	、	川	
の	長	さ	も	短	い	た	め	、	川	に	降	っ	た	雨	が	す	ぐ	に	海	
へ	と	流	れ	て	し	ま	う	か	ら	。										
																				60
																				37

【例】 (7)

水くみを改善するために、上下水道の整備や
 い持に必要な人材育成が必要であると思う。
 上下水道ができれば、水くみも減り、仕事に
 就ける女性や学校で学べる子どもが増えると思
 う。さらに、女性の社会進出や生産性の向
 上により、その国の経済が発展すると思う。

38

2

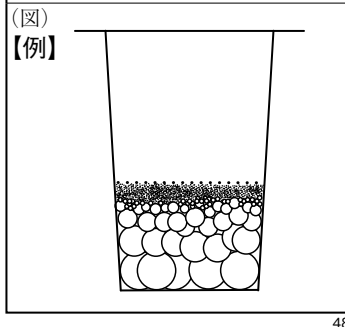
(1)	(2)	(3)	(4)
ア	イ	オ	イ
39	40	41	42

(5)

①	イ	②	P ア	R イ	③	【例】土砂が運ばれるほど、川の流れが速くなっているから。
43		44		45		46

(6)

【説明】【例】
 つぶの大きいものが先にしずみ、小さいものは後にしずむ。よって、バケツの底に小石がしずみ、その上に砂がしずむので、バケツを横から見ると図のようになる。



(配点 計100点)

① 1)①、②、(5)②⑦～⑩、②(6)(図)……各2点
 ① 2)、(4)⑦～⑩、②(1)～(4)、(5)①、②P、R……各3点
 ① 1)③(内容3点・表記1点)、②(5)③(内容3点・表記1点)、
 (6)(説明)(内容①2点・内容②1点・表記1点)……各4点
 ① 3)(割合)(完答)、(3)(グラフ)……各6点
 ① 5)①(内容①3点・内容②3点・表記1点)、
 (6)(内容①3点・内容②3点・表記1点)……各7点
 ① 7)(内容①4点・内容②3点・表記1点)……8点

【解説】

①

- (1) ① 花子さんの体重は35kgです。花子さんは子どもなので、体重のおよそ70%を水がしめ
ていることとなります。70%=0.7より、 $35 \times 0.7 = 24.5$ (kg) となります。
- ② 花子さんが1日にとる必要がある水の量のうち、最も多い場合を考えるので、「1kgあ
たりに必要な水分量」を100mLとします。 $100 \times 35 = 3500$ (mL) となります。
- ③ 私たちは直接水を飲む以外に、食べ物にふくまれる水分も体内にとり入れています。
この問題では、①「食べ物から」など、直接水を飲む以外の方法で、水分を体内にとり
入れる方法が正しく書かれているかどうか、②表現や表記などに誤りがないかどうか
を中心に見ています。

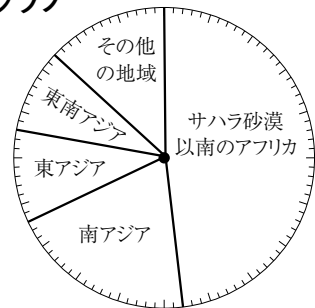
(2) 「人間にとって使いやすい形で存在する水」は、14億km²の0.01%しかありません。0.01%=
0.0001より、 $1,400,000,000 \times 0.0001 = 140,000$ (km³) となります。

(3) 表1にある地域の割合を整数で求めると、次のよう
になります。円グラフに表すと右のようになります。

(各地域の割合)

地域	(%)
サハラ砂漠以南のアフリカ	48
南アジア	20
東アジア	10
東南アジア	9
その他の地域	13

グラフ



(4) ㊦～㊨のそれぞれが正しいかどうかを検証します。

- ㊦ 2000年から2015年にかけて、国内全体の改善された飲み水を利用できない人の割合の
減少が最も大きい国はエチオピアで、国内全体の改善された衛生施設を利用できない
人の割合の減少が最も大きい国はアンゴラです。よって×となります。
- ㊧ 2000年から2015年にかけて、国内全体の改善された衛生施設を利用できない人の割合
が増加した国は赤道ギニアとパプアニューギニアの2か国です。しかし、国内全体の
改善された飲み水を利用できない人の割合は、赤道ギニア、パプアニューギニア共に
減少しています。よって×となります。
- ㊨ 2000年から2015年にかけて、都市部の改善された飲み水を利用できない人の割合の減
少と、都市部の改善された衛生施設を利用できない人の割合の減少が最も大きい国は
どちらもアンゴラです。よって○となります。
- ㊩ 2000年、2015年における、それぞれの国の改善された飲み水を利用できない人の割合、
改善された衛生施設を利用できない人の割合を調べます。すると、改善された飲み水
を利用できない人の割合は2015年のバングラデシュが、改善された衛生施設を利用

- きない人の割合は2015年のエチオピア、2015年のコンゴ民主共和国、2015年のバングラデシュが、それぞれ農村部より都市部の方が多いことがわかります。よって×となります。
- ㊸ 2000年において、国内全体の改善された飲み水を利用できる人の割合が最も高い国(=改善された飲み水を利用できない人の割合が最も低い国)はインドで、国内全体の改善された衛生施設を利用できる人の割合が最も高い国(=改善された衛生施設を利用できない人の割合が最も低い国)は赤道ギニアです。よって○となります。
- ㊹ 2015年における下痢^{げり}による0～4歳児^{さいじ}の死亡率は、どの国も15%を下回っています。しかし、2000年から2015年にかけて、コンゴ民主共和国のみ、下痢による0～4歳児の死亡率が増加しています。よって×となります。
- (5) ① こうした地域では、バケツやタンクなどに水をくんで運ぶ場合、手に持ったり、頭へのせたりするため、運びづらく、体にも大きな負担^{ふたん}がかかります。Qドラムを使うことで、容器の中心部分にひもを通し、転がして運ぶことができます。これにより、体にかかる負担を減らしたり、水くみにかかる時間を減らしたりすることができるので、水くみの大幅な改善^{おおはば かいぜん}を期待することができます。この問題では、①Qドラムを使う利点が正しく書かれているかどうか、②①の内容に過不足がないかどうか、③表現や表記などに誤りがないかどうかを中心にしています。
- ② ㊺ $7.5 \div 14 = 0.5357\dots$ より、53.6%となります。
- ③ ㊻ $5 \div 20 = 0.25$ より、25%となります。
- ④ ㊼ $50 \div 290 = 0.1724\dots$ より、17.2%となります。
- (参考)
- 1キナ=35円、1ブル=5円、1ルピー=1.7円と考えると、パプアニューギニアで水の宅配サービスから50リットルの水を買う場合、 $35 \times 7.5 = 262.5$ より、およそ263円かかります。エチオピアで水売り人から50リットルの水を買う場合、 $5 \times 5 = 25$ より、25円かかります。もし、50リットルの水を自宅まで運んでもらう場合、 $5 \times 30 = 150$ より、150円かかります。インドで給水車による水売りから50リットルの水を買う場合、 $1.7 \times 50 = 85$ より、85円かかります。
- (6) 図2より、日本の川は他の国の川と比べて短く、また、上流と下流の標高差が大きいことがわかります。そのため、川に降った雨はすぐに海へ流れてしまいます。このような理由から、降水量が多くても資源として使える水は少ないことが考えられます。この問題では、①図2を参考にして、日本の地形の特徴^{とくちょう}にふれ、理由を正しく説明しているかどうか、②①の内容に過不足がないかどうか、③表現や表記などに誤りがないかどうかを中心にしています。
- (7) Qドラムを始め、水くみを改善するための方法は様々考えられます。たとえば、スイスのあ

適性検査A—解答と解説

る企業は、よごれた水をろ過して飲むことができる製品を開発しました。ストローの形をしており「ライフストロー」という名称がつけられています。こうした道具を使うことで、身近にある安全ではない水も使うことができるようになり、水くみの改善に役立つことが考えられます。また、ろ過や海水の淡水化や水を殺菌する溶液など、水を浄化するための様々な技術が開発されています。

水くみから解放された女性や子どもたちは、新たに仕事を手にしたり、教育を受ける機会を手にしたりすることができるようになると考えられます。仕事を持つ女性が増えることで多くの女性が社会で活やくしたり、学びを通じて知識や技術を身に付けた子どもが将来、様々な活動に従事したりするようになり、その国を支える貴重な労働力が増加することが考えられます。結果として、その国に経済発展がもたらされるようになるでしょう。この問題では、①水くみを改善するための具体的な方法が書かれているかどうか、②水くみから解放される女性や子どもの数が増えることで、その国にもたらされる利点が書かれているかどうか、③表現や表記などに誤りがないかどうかを中心にしています。

2

- (1) 図2より、大きさが1mmのつぶと流れる水の速さが秒速10cmが交差する点は、●のグラフと○のグラフの間です。たい積して川底をつくっている1mmのつぶが流されて動き出すのは、流れる水の速さがおよそ秒速21cmより速いときです。よって、1mmのつぶは流されず動きません。
- (2) 図2より、大きさが5mmのつぶと流れる水の速さが秒速50cmが交差する点は、●のグラフと○のグラフの間です。川の流れに運ばれている5mmのつぶが止まってたい積し始めるのは、流れる水の速さがおよそ秒速38cmより遅いときです。よって、5mmのつぶは止まらず、運ばれ続けます。
- (3) 川の流れがだんだん遅くなっていくとき、川の流れに運ばれているつぶが止まってたい積し始めるのは○のグラフです。その中で最も速い流れてたい積し始めるのは、大きさが10mmのつぶです。
- (4) 川の流れがだんだん速くなっていくとき、川底をつくっているつぶが流されて動き出すのは●のグラフです。その中で最も遅い流れて動き出すのは大きさが0.5mmのつぶです。
- (5) ① 図3より、海面からの高さ250mから200mの間と、海面からの高さ50mから河口までの部分は長いため、川の流れはゆるやかです。それに対して海面からの高さが100m～150mの部分は短いので川の流れが急になっていることがわかります。したがって、イのようなグラフになると考えられます。
② 川がカーブしている部分の流れの速さは内側が遅く外側が速くなります。川の中央のQの位置は、Pよりは流れが速くRよりは流れが遅いので、Pの位置はQの位置よりも運ぶはたらきが小さくなっています。よって、アのようなことが考えられます。

一方で、Rの位置はQの位置よりも運ぶはたらきが大きくなっています。よって、Iのようになることが考えられます。

- ③ 川がにごってきたのは、川の土砂を運ぶはたらきが大きくなっているためです。つまり、それだけ川の流が速く、危険であると考えられます。その原因として、たとえば、川の上流でたくさんの雨が降って、水かさが増したことが挙げられます。この問題では、①「川からはなれる理由」が正しく書かれているかどうか、②表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

- (6) つぶの大きいものが先にしずみ、つぶの小さいものは後にしずみます。小石は最も大きいので最初にしずみます。次に砂がしずみます。そのため、バケツの底に小石がつもり、小石の上に砂がつまります。バケツを横からみた図は、解答のようになると考えられます。この問題では、①「バケツにたい積した小石、砂のようす」が正しく説明できているかどうか、②①の内容に過不足がなく、図と整合性のある説明であるかどうか、③表現や表記などに誤りがないかどうかを中心に見ています。

小学6年 適性検査B — 解答と解説

1

(1)			(2)		(3)		
ア	18 (%)	イ	50 (%)	ウ	556 (%)	①	4.8 (%)
	21		22		23		25

(3)	
②(式や考え方)	
【例】	
270×0.1=27(g) ……ふくまれている食塩の重さ	
27÷0.06=450(g) ……元の食塩水の重さ	
450-270=180(g)	
(答え)	180 g
26	27

2

(1)		(2)	
1080	(cm ³)	高くなる	低くなる
	28		29

(3)		(4)		(5)		(6)	
18	cm	60	cm ²	14 $\frac{4}{19}$	cm	41580	cm ³
	30		31		32		33

3

(1)									
ア	2 (L)	イ	B	ウ	C	エ	B	オ	C
								(完答) 34	

(2)									
カ	F	キ	D	ク	E	ケ	F	コ	E
								(完答) 35	

(2)											
サ	F	シ	D	ス	E	セ	F	ソ	D	タ	E
										(完答) 36	

(2)			
チ	E	ツ	F

(完答) 37

(計 100点)

1 (1)ア、イ、(2)、(3)①、②(答え)、2(1)、(2)……各2点

1 (1)ウ、2(3)、4(1)、(2)、(4)、(5)……各3点

2 (4)……4点

1 (3)②(式や考え方)(内容3点・表記2点)、2(6)、3(1)ア～オ(完答)、(2)チ、ツ(完答)……各5点

(5)、3(2)カ～コ(完答)、(3)(内容4点・表記2点)、

2(4)①(内容①3点・内容②2点・表記1点)、②(内容①3点・内容②2点・表記1点)……各6点

3(2)サ～タ(完答)、4(6)(内容①3点・内容②3点・表記1点)……各7点

(3)	(説明) 【例】 12、9、3 はどれも3の倍数なので、水をどのようにうつしかえても測りとれる体積(L)は3の倍数となります。8は3の倍数でないので、Gに8Lの水を入れることはできません。
できる (できない)	

38

4

(1)	(2)
工	19

39

40

	(3)
①	夏は植物の光合成が活 ₁₀ 発になるため、二酸化 ₂₀
	炭素の吸収が放出を上 ₃₀ 回るが、夏を過ぎると ₄₀
	植物の光合成が不活 ₅₀ 発になるため、二酸化炭 ₆₀
	素の放出が吸収を上 ₇₀ 回るから。

41

	(3)
②	南半球は北半球に比 ₁₀ べて陸地が少なく、森林 ₂₀
	も少ないため、季節による植物の光合成量の ₄₀
	変化が小さいから。

42

(4)
工

43

(5)
工

44

	(6)
はい水こうや下水道などにたま ₁₀ った雨水が道 ₂₀	
路にあふれ、交通マ ₃₀ ヒを引き起こすことが考 ₄₀	
えられる。その対策 ₅₀ として、地下に雨水をた ₆₀	
められる空間を作 ₇₀ ったり、事前に止水板 ₈₀ を用	
意 ₉₀ したりすればよいと思う。	

45

【解 説】

①

- (1) ア 図を見ると、「しぼりたてのオレンジジュース」の重量を100としたとき「濃縮^{のうしよく}オレンジジュース」の重量が18となっているので、アにあてはまる数は18とわかります。
- イ 100gの果汁が $100+100=200$ (g)にうすめられたので、その濃さは $100\div 200=0.5$ より、50%です。
- ウ たろう君と先生の会話から、果汁が濃縮^{かじゅう}されているときも、「(元の果汁の重さ) \div (濃縮した後の果汁の重さ)」で濃さが求められることがわかります。
- $100\div 18=5.555\dots$ より、濃さを百分率で表すと555.5…%となるので、小数第1位を四捨五入すると556%とわかります。
- (2) $10\div (190+10)=0.05$ なので、5%です。
- (3) ① 水でうすめても、溶^とけている食塩の重さは変わりません。
- $300\times 0.08=24$ (g) ……溶けている食塩の重さ
- $24\div (300+200)=0.048$ なので、4.8%です。
- ② 水を蒸発させても、溶けている食塩の重さは変わりません。
- $270\times 0.1=27$ (g) ……溶けている食塩の重さ
- $27\div 0.06=450$ (g) ……元の食塩水の重さ
- $450-270=180$ (g)
- (別解)
- 濃度が6%から10%になるとき、食塩水の重さは $6\div 10=0.6$ (倍)になっています。
- $270\div 0.6=450$ (g) ……元の食塩水の重さ
- $450-270=180$ (g)
- この問題では、①答えを求めるまでの正しい式や考え方が書かれているかどうか、②表現や表記などに誤りがないかどうかを中心にしています。

②

- (1) $14.4-13.5=0.9$ (cm) だけ水位が上がったので、レンガが押しのかた水の体積は、たて30cm、横40cm、高さ0.9cmの直方体の体積となり、これがレンガの体積と等しくなります。
- $30\times 40\times 0.9=1080$ (cm³)
- (2) レンガの水面より下にある部分だけが水を押しのかけるので、図3の水位は図2の水位よりも低くなります。
- (3) $30\times 40\times 13.5=16200$ (cm³) ……水の体積
- $1080\times (1+4)=5400$ (cm³) ……しずめたレンガの体積の和
- 下線部③のとき、水そうの「たて \times 横 \times 水位」で求められる体積が $16200+5400=21600$

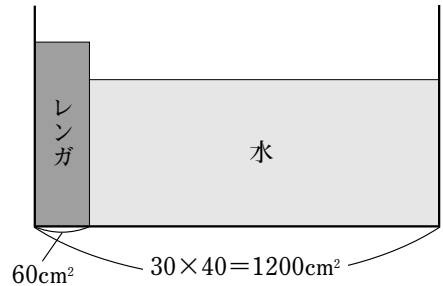
(cm^3)にあたります。

$$21600 \div (30 \times 40) = 18 (\text{cm})$$

- (4) (3)より、レンガの高さが18cmなので、水そうの底についている面の面積は $1080 \div 18 = 60 (\text{cm}^2)$ です。

- (5) 水の入る部分がレンガによってせばめられて右図のようになっています。

水の体積は 16200cm^3 なので、このときの水位は $16200 \div (1200 - 60) = 14 \frac{4}{19} (\text{cm})$ です。



(別解)

図3のときの水位を $\square \text{cm}$ とします。

水面より下にあるレンガの体積は $60 \times \square (\text{cm}^3)$ と表すことができ、また、押しつけられた水の体積は $30 \times 40 \times (\square - 13.5) (\text{cm}^3)$ と表すことができます。

この2つの体積が等しくなるので、 $60 \times \square = 30 \times 40 \times (\square - 13.5)$ という式が成り立ちます。

$$60 \times \square = 30 \times 40 \times (\square - 13.5)$$

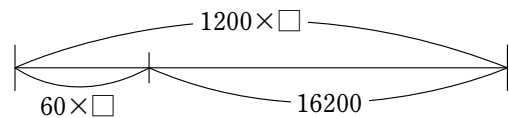
$$60 \times \square = 30 \times 40 \times \square - 30 \times 40 \times 13.5$$

$$60 \times \square = 1200 \times \square - 16200$$

この式の関係を図に表すと右のよう

になり、 $1200 \times \square - 60 \times \square = 16200$

であることがわかります。



$$(1200 - 60) \times \square = 16200$$

$$1140 \times \square = 16200$$

$$\square = 16200 \div 1140 = 14 \frac{4}{19}$$

よって、図3の水位は $14 \frac{4}{19} \text{cm}$ です。

- (6) 浴槽の形はやや複雑ですが、押しつけられたお湯の部分だけに注目すると、その部分はたて126cm、横66cm、高さ $40 - 35 = 5 (\text{cm})$ の直方体です。

$$126 \times 66 \times 5 = 41580 (\text{cm}^3)$$

3

(1) 右のように表を使って整理すると、アに2、イにB、ウにC、エにB、オにCが当てはまることがわかります。

Bの水(L)	5	2	2	0	→5	4
Cの水(L)	0	3	→0	2	2	3

(2) (1)と同じように表を使って整理します。

まず、カ～コについて考えます。表のようにDに3L、Eに4L、Fに3L入っている状態から、2回のうつしかえをしてどこかに1Lを作らなければいけません。

Dの水(L)	10	3	3	?	?	...
Eの水(L)	0	7	4	?	?	...
Fの水(L)	0	0	3	?	?	...

どれかが1L

そのようなうつしかえ方は、Fの3LをDにうつし、その後にEの水をFにうつすしかありません。よって、カにF、キにD、クにE、ケにF、コにEが当てはまります。

次に、サ～タについて考えます。

いまEに残っている1Lの水をDにうつしてしまうと、Dに7L、Fに3Lの水が残ることになり、今までの作業がむだになってしまいます。ですから、その1Lを変えないようにうつしかえをします。すると、Fの3LをDにうつし、Eの1LをFにうつせば、その次にDからEに7Lをうつすことができ、問題文のサ～タに合うことがわかります。

よって、サにF、シにD、スにE、セにF、ソにD、タにEが当てはまります。

ここまでのうつしかえ方は下のようになります。

Dの水(L)	10	3	3	6	6	9	9	2	...
Eの水(L)	0	7	4	4	1	1	0	7	...
Fの水(L)	0	0	3	0	3	0	1	1	...

最後に、チ、ツについて考えます。

Eに5L残すためには7Lのうちの2Lだけをどこかにうつす必要があります。ここでFを見ると、Fには1L入っているの、あと2Lの水が入ることがわかります。

よって、チにE、ツにFが当てはまります。

最後までうつしかえたときの様子は下のようになります。

Dの水(L)	10	3	3	6	6	9	9	2	2	5
Eの水(L)	0	7	4	4	1	1	0	7	5	5
Fの水(L)	0	0	3	0	3	0	1	1	3	0

(3) 12、9、3はいずれも3の倍数です。そのため、水をどのようにうつしかえても、3L、6L、9L、12Lというような3の倍数Lしか作ることができません。

8は3の倍数ではないので、作ることはできません。

この問題では、①「倍数」という言葉を使って理由を正しく説明しているかどうか、②表現や表記などに誤りがないかどうかを中心に見ています。

4

- (1) 液体の水が蒸発して気体になるとき、周囲の熱をうばいます。このことを「気化熱」といいます。打ち水は、この気化熱を利用しています。昼の暑いときに打ち水をする、水がすぐに蒸発してしまいます。このとき、発生した水蒸気が湿度を上げてしまうため不快に感じる場合があります。そのため、はじめ君は昼の暑いときではなく、朝夕に打ち水をする方がよいと考えています。
- (2) グラフ1より、1990年より後では、年平均気温が基準(0.0)より高かった年は19回あります。
- (3) ① 多くの植物は葉の気孔を通して、光合成に必要な二酸化炭素を取り入れたり、光合成で産出された酸素を放出したりしています。夏は植物の葉がしげり、二酸化炭素を吸収する光合成がさかんになるので、光合成による二酸化炭素の吸収が、呼吸による二酸化炭素の放出を上回ります。そのため、二酸化炭素の濃度は低くなります。しかし、夏を過ぎると、多くの植物が葉を落とすため、呼吸による二酸化炭素の放出が光合成による二酸化炭素の吸収を上回ります。そのため、二酸化炭素の濃度が高くなります。この問題では、①季節による植物の光合成の変化にふれ、理由が正しく説明できているかどうか、②①の内容に過不足がないかどうか、③表現や表記などに誤りがないかどうかを中心に見ています。
- ② 南半球は北半球に比べて陸地が少なく植物の数も少ないため、季節による光合成の増減の影響を受けにくくなります。そのため、年間を通して二酸化炭素の濃度変化のはばは北半球に比べて小さくなります。この問題では、①南半球の地理的な特徴、植物の光合成にふれ、理由が正しく説明できているかどうか、②①の内容に過不足がないかどうか、③表現や表記などに誤りがないかどうかを中心に見ています。
- (4) グラフ4から、ア～エが正しいかどうかを検証します。
- ア 1924年から1947年までで、降水量が基準を上回る年は9回ですが、降水量が基準値を200mm以上上回った年は3回です。
- イ 1910年の降水量はおよそ150mm、1920年の降水量はおよそ180mmです。よって、1920年の方が降水量が多いこととなります。
- ウ グラフから集中豪雨が多いかどうかはわかりません。また、降水量が多いから集中豪雨が多いと言えるわけではありません。
- エ 1994年は降水量が基準値を大きく下回っています。1994年より基準値を下回る年はないため、1994年は降水量が最も少なかったことがわかります。

適性検査B—解答と解説

グラフ5とグラフ6から、ア～エが正しいかどうかを検証します。

- (5) ア 1時間の降水量が80mm以上の年間発生回数が10回以上であっても、1日の降水量が400mm以上の年間発生回数が10回以上になっているとは言えません。
- イ 1日の降水量が400mm以上の年間発生回数が5回以下であっても、降水量が少ないとは限りません。
- ウ $18.0 \div 9.9 = 1.81 \dots$ より、1998年から2009年までの1時間の降水量が80mm以上の年間発生回数の平均は、1976年から1986年までの1時間の降水量が80mm以上の年間発生回数の平均の3倍以上になりません。
- エ $9.8 \div 4.7 = 2.085 \dots$ より、1998年から2009年までの1日の降水量が400mm以上の年間発生回数の平均は、1976年から1986年までの1日の降水量が400mm以上の年間発生回数の平均の2倍以上になっています。
- (6) 「ゲリラ豪雨」による大量の雨水は土地の低い所に一気に向かうので、はい水こうや下水道などが満水になるおそれがあります。このとき、満水になった雨水が道路にあふれ出し、交通マヒを引き起こすことが考えられます。また、地下鉄やビルの地下に流れこんだ大量の雨水が、地下から地上への出口をふさいでしまうおそれもあります。そのため、地下にいる人が地上に出られない危険性も考えられます。それらの対策として、地下に雨水をためられる空間を作ったり、止水板を用意したり、また、事前に避難経路を確認したりする必要があります。この問題では、①ゲリラ豪雨によって引き起こされる問題点が書かれているかどうか、②①に対する具体的な対策が書かれているかどうか、③表現や表記などに誤りがないかどうかを中心に見ています。

2

問三														
は	で	と	け		だ	何	て		い	な	私	う		
ま	ま	思	で	ま	か	も	い	以	く	が	た	こ	私	
ち	ち	う	な	ち	ら	言	た	前	と	ら	ち	と	は	
が	が	。	く	が	今	わ	。	の	思	、	は	を	、	
い	い	な	、	い	は	な	だ	私	う	自	正	積	ま	
を	を	ぜ	他	を	、	い	か	は	か	分	し	極	ち	
お	ふ	な	の	発	人	と	ら	、	ら	身	い	的	が	
そ	り	ら	人	見	前	自	、	ま	だ	の	こ	に	う	
れ	返	、	の	し	で	分	人	ち		の	と	活	こ	
ず	る	自	意	た	の	の	前	が		も	や	用	と	
、	こ	分	見	ら	発	考	で	う		の	ま	し	を	
自	と	で	に	、	言	え	の	こ		考	ち	て	必	
分	が	は	耳	そ	を	は	発	を		え	が	い	要	
の	で	気	を	の	心	人	言	は		方	っ	き	以	
成	き	づ	か	原	が	に	が	ず		や	た	い	上	
長	る	け	た	因	け	伝	い	か		進	こ	と	お	
に	か	な	む	を	ら	わ	や	し		む	を	思	そ	
活	ら	か	け	自	う	ら	だ	い		べ	い	う	れ	
用	だ	っ	る	分	に	な	っ	こ		き	く	。	ず	
し	。	た	こ	一	し	い	。	と		道	つ	な	に	
た	か	ら	も	人	て	し	。	だ		を	も	ぜ	、	
。	ら	い	大	探	い	思	。	思		決	経	な	ま	
	、	視	切	る	。	っ		っ		め	験	ら	ち	
	私	点	だ	だ		た		っ		て	し	、	が	

問二	
道	や
修	り
正	な
し	お
た	し
り	た
す	り
る	、
と	正
よ	し
い	い
。	方
	向
	へ
	軌

問一	
が	討
よ	論
く	に
あ	新
る	し
	い
から	視
	角
	を
	与
	え
	る
	こ
	と

- (配点)
- | | | | |
|---|------|-------|---------|
| ① | (問一) | 各6点×2 | } 計100点 |
| | (問二) | 7点 | |
| | (問三) | 4点 | |
| | (問四) | 7点 | |
| | (問五) | 20点 | |
| ② | (問一) | 6点 | } 計100点 |
| | (問二) | 8点 | |
| | (問三) | 36点 | |

小学六年
適性検査C
 解答と解説

1

問一	
Ⅱ	Ⅰ
イン	ド
の	絵
本	を
翻訳	ない

問二
 単林では一度の伐採で山の保水力が失われやすく、水不足になるとい問題
 が起きるので、複層林にするのが望ましい。

問三
 巣造りをしたり、ねぐらをとる場所(の存在)

問四
 複雑な構造の森

問五									
て	守	か	ト	る		に	つ	か	
い	る	き	ン	と	テ	す	つ	す	私
く	こ	の	や	い	レ	る	人	方	は
と	と	と	養	う	ビ	人	間	法	人
い	と	れ	分	話	で	が	の	を	間
い	人	る	が	題	、	増	生	と	が
と	間	量	海	が	か	え	活	の	自
思	の	が	に	取	き	る	を	良	然
う	生	安	流	り	の	思	豊	い	を
。	活	定	れ	上	漁	う	か	と	守
	の	す	、	げ	師	か	に	す	り
	両	る	ゆ	ら	が	ら	山	る	つ
	方	そ	く	れ	山	だ	に	活	つ
	に	う	ゆ	て	木		木	動	、
	つ	だ	く	い	を		植	を	そ
	な	。	は	た	植		え	し	の
	が	こ	か	。	る		る	て	力
	取	の	き	山	活		活	い	を
	り	よ	の	の	動		動	。	人
	組	う	え	植	を		を	間	間
	み	な	さ	物	し		を	の	生
	が	、	に	プ	て		大	活	活
	増	自	な	ラ	い		切	に	生
	え	然	り	ン				生	活
		を	、	ク					

250

200

100

25

【解説】

1

問一 — 線部①にある「符合」は注に、「ものごとがびつたりと合うこと」とあります。——線部①の直前の内容から、筆者が講演に行った先の松山で雨がなかなか降らないことと、最近翻訳したインドの絵本の内容がともよく似ていたことから、筆者は「不思議な符合」を感じていたのだと考えられます。Ⅰは、松山に雨が降らないことを説明する内容をまとめます。Ⅱには、似たような話のインド人女性が書いた絵本を翻訳をしたことがあてはまります。五字以上十字以内という字数制限があるので、「インドの絵本を翻訳」のように語句を組み合わせてまとめるとよいでしょう。

I※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 「雨が降らない」という内容が書かれているか
- ② 表記や表現が正しいか
- II※以下のポイントを中心に見ます。
- ① 同じ状況の「絵本の翻訳をした」という内容が書かれているか
- ② 表記や表現が正しいか

問二 杉が植えられ過ぎることによる問題は、——線部②の後の「一度に伐採してしまえば、山は丸坊主になって保水力を完全に失う」とある部分をまとめます。解決策は、一度に伐採されてしまわないように、単林ではなく種類や植えられた時期の違う複層林であることが好ましい、と書かれている部分をまとめるとよいでしょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 山に杉が植えられ過ぎることによる問題が書かれているか
- ② ①の問題への解決策が書かれているか
- ③ 表記や表現が正しいか

問三

——線部③の後に「生活上欠くことのできない要素」が書かれています。森にすむ野鳥にとつて、見晴らしがきき、エサを探しやすい「とまり木」や天敵からにげこめる「ヤブ」も大切な要素ですが、「いちばん大事な要素」は「巣造りをしたり、ねぐらをとる場所」であると書かれています。最も大切な要素、二十字以内、というヒントを手がかりにして文章後半から探し出します。

問四

文章B

の後半で、「鳥の求める条件は多種多様なのです」とありますから、どのような森であれば野鳥が住みやすいのか、さまざまな条件をまとめている部分に注意しながら読んでいきます。「森の構造が複雑であればあるほど、そこにすむ野鳥も多い」という部分に注目すると、野鳥にとつていろいろな要素がある、「複雑な構造の」森に住むのに適していると考えられます。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 「複雑な構造」が森に必要であるという内容が書かれているか
- ② 表記や表現が正しいか

問五

文章Aと

文章B

を読んで、人間と自然との関係について自分の考えを記述する問題です。

文章A

では、自然の

前では人間の力はとても及ばないこと、自然を人間の都合で変えてしまうことよって問題が起ることなどが書かれ、

文章Bでは豊かな自然が生物を育むことが書かれていま

す。これらをもとにして、自分なりの自然とのかかわり方を考えてみましょう。

見たり聞いたりしたことや体験したことがあれば、そこから自分の考えを組み立てると書きやすいかもしれません。また、文章に書かれた自然と人間とのかかわりに対して自分の立場を考えるのもよい方法です。

解答欄に書き始める前に、条件がすべて入っているかどうかを確認するために、書くべきことを短く簡条書きにメモしてみるという工夫のしかたもあります。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 人間の自然とのかかわり方について自分の意見が書かれているか
- ② ①に関係する見聞きしたことや体験した内容が書かれているか
- ③ 読み手が考えを補ったり推測したりする必要のない説明であるか
- ④ 答案用紙の使い方が正しいか
- ⑤ 表記や表現が正しいか
- ⑥ 字数制限が守られているか

2

問一

——線部①の直後を読むと、とんでもない意見が討論に有効である点が説明されています。意見に誤りがある場合であっても「討論に新しい視角を与える」ことが、議論を発展させるものになるというわけです。「誤った意見のほうは、討論には有効なことが多い」という部分も「から」につながるので一見よさそうですが、——線部①と同じ内容を言いかえている部分なので、理由の説明になっていません。

問二

——線部②の直前に「若いときほど、修正の余地があるのだから」とあるので、これを手がかりにしてまとめることを考えます。さらに前を見ていくと、「まちがったら、やりなおせばよいだけのことだ」、「あるいは、正しい方向へと、軌道修正をしていけばよい」ということが書かれています。この二つの部分を二十五字以上三十字以内でまとめていきます。文末を「すればよい」などとして、つながりにも注意しましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 「やりなおす」という方法が書かれているか
- ② 「軌道修正する」という方法が書かれているか
- ③ 表記や表現が正しいか

問三

文章を通じて筆者は「世の中には、正しいか誤っているか、結論のくだせないことのほうが多い」のだから、「正しいかどうか、まだはつきりしないままで、意見を言ったほうがよい」し、まちがったら「正しい方向へと、軌道修正をしていけばよい」と述べています。こうした筆者の考えも参考にし

ながら、まちがうことについてのあなたの意見をまとめてみましょう。問題には「まちがうことについてどう思うか」「まちがったときにどうしたらよいか」「それぞれの理由」という四つの書くべき内容があります。書き忘れ、内容の重複がないようにそれぞれについて簡条書きにするなど工夫しておくといでしょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① まちがうことについての自分の意見が書かれているか
- ② ①の理由が書かれているか
- ③ まちがったときにどうするかが書かれているか
- ④ ③の理由が書かれているか
- ⑤ 読み手が考えを補ったり推測したりする必要のない説明であるか
- ⑥ 答案用紙の使い方が正しいか
- ⑦ 表記や表現が正しいか
- ⑧ 字数制限が守られているか

1

問一	I	ろく	に	雨が	降ら	ない
II	イン	ド	の	絵本	を	翻訳

問二 単林では一度の伐採で山の保水力が失われやすく、水不足になるという問題
 が起きるので、複層林にするのが望ましい。

問三 巣造りをしたり、ねぐらをとる場所(の存在)
 問四 複雑な構造の森

問五

て	守	か	ト	る		に	つ	か	
い	る	き	ン	と	テ	す	つ	す	私
く	こ	の	や	い	レ	る	人	方	は
と	と	と	養	う	ビ	人	間	法	人
い	と	れ	分	話	で	が	の	を	間
い	人	る	が	題	、	増	生	と	が
と	間	量	海	が	か	え	活	る	自
思	の	が	に	取	き	る	を	と	然
う	生	安	流	り	の	思	豊	の	を
	活	定	れ	上	か	う	か	良	守
	の	す	、	げ	漁	か	に	い	り
	両	る	ゆ	ら	師	ら	す	と	つ
	方	そ	く	れ	が	か	る	方	つ
	に	う	ゆ	て	山	ら	に	法	、
	つ	だ	く	い	に	木	を	が	そ
	な	こ	は	た	木	を	植	あ	の
	が	の	か	山	を	植	え	れ	力
	取	よ	き	の	活	え	る	ば	を
	り	う	の	植	動	る	活	、	人
	組	な	え	物	を	活	動	自	間
	み	、	さ	プ	し	を	し	然	の
	が	自	に	ラ	て	い	い	を	生
	増	然	り	ン	い			守	活
	え	を		ク				り	に

250 200 100 25

小学六年 適性検査D 解答と解説

問三															問二	問一				
思	と	は	か		と	が	そ	と	な	い	た		自	い	く	き		に	生	自
う	考	生	っ	こ	考	け	の	が	い	の	。 気	小	分	の	。 考	た	私	な	徒	然
。	え	ま	た	の	え	た	よ	起	人	で	。 気	学	の	。 な	い	は	っ	の	の	
	方	れ	り	よ	た	り	う	き	と	、 気	校	成	ぜ	。 考	、 中	た	将	論		
	の	な	す	う	り	、 相	な	たり	の	楽	で	長	な	え	学	こ	来	理		
	ち	か	る	に	し	手	と	し	間	に	も	に	ら	方	校	と	を	と		
	が	っ	こ	、	て	が	き	て	で	付	、 気	つ	が	が	て	。	計	人		
	う	た	と	自	、	考	は	、	は	き	の	な	う	ち	自		画	間		
	人	思	は	分	分	え	、	不	意	合	の	が	人	と	分		し	の		
	の	う	。 気	の	り	て	自	快	見	う	関	と	と	の	が		、	論		
	関	。	の	こ	合	い	分	な	の	こ	わ	人	の	関	成		そ	理		
	わり	こ	合	を	る	る	の	気	食	と	り	と	の	わ	長		れ	と		
	を	う	人	ふ	よ	こ	考	持	い	が	合	合	の	り	で		に	が		
	大	し	と	り	う	が	え	ち	が	で	わ	わ	関	が	き		向	、		
	切	た	の	返	に	ど	が	に	い	き	い	人	と	の	る		け	交		
	に	体	関	つ	努	う	い	手	や	た	、	、	だ	の	よ		て	錯		
	し	験	わり	たり	力	い	う	に	納	。 し	両	。 意	け	合	う		現	し		
	て	か	り	、	し	う	こ	伝	得	か	方	見	。 考	う	な		在	あ		
	い	ら	合	相	た	こ	と	わ	で	し、	に	に	え	人	間		を	う		
	き	、	い	手	。 相	な	よ	る	き	、	ふ	考	。 意	と	関		管	場		
	た	私	だ	を	手	の	う	よ	な	そ	れ	。 考	。 考	だ	係		理	す		
	い	は	け	を	を	な	な	う	あ	う	に	。 考	。 考	け	を		る	る		
	と	自	分	気	を	の	か	心	っ	こ	出	。 意	。 考	。 考	を		よ	よ		
		分	で	づ	づ	か			た	こ	会	。 意	。 考	を	築		う	う		

(配点)

- | | | | |
|---|------|-------|---------|
| ① | 〔問一〕 | 各6点×2 | } 計100点 |
| | 〔問二〕 | 7点 | |
| | 〔問三〕 | 4点 | |
| | 〔問四〕 | 7点 | |
| | 〔問五〕 | 20点 | |
| ② | 〔問一〕 | 6点 | } 計100点 |
| | 〔問二〕 | 8点 | |
| | 〔問三〕 | 36点 | |

【解説】

1

問一 — 線部①にある「符合」は注に、「ものごとがびつたりと合うこと」とあります。——線部①の直前の内容から、筆者が講演に行った先の松山で雨がなかなか降らないことと、最近翻訳したインドの絵本の内容がともよく似ていたことから、筆者は「不思議な符合」を感じていたのだと考えられます。Ⅰは、松山に雨が降らないことを説明する内容をまとめます。Ⅱには、似たような話のインド人女性が書いた絵本を翻訳をしたことがあてはまります。五字以上十字以内という字数制限があるので、「インドの絵本を翻訳」のように語句を組み合わせてまとめるとよいでしょう。

I※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 「雨が降らない」という内容が書かれているか
- ② 表記や表現が正しいか
- II※以下のポイントを中心に見ます。
- ① 同じ状況の「絵本の翻訳をした」という内容が書かれているか
- ② 表記や表現が正しいか

問二 杉が植えられ過ぎることによる問題は、——線部②の後の「一度に伐採してしまえば、山は丸坊主になって保水力を完全に失う」とある部分をまとめます。解決策は、一度に伐採されてしまわないように、単林ではなく種類や植えられた時期の違う複層林であることが好ましい、と書かれている部分をまとめるとよいでしょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 山に杉が植えられ過ぎることによる問題が書かれているか
- ② ①の問題への解決策が書かれているか
- ③ 表記や表現が正しいか

問三

——線部③の後に「生活上欠くことのできない要素」が書かれています。森にすむ野鳥にとつて、見晴らしがきき、エサを探しやすい「とまり木」や天敵からにげこめる「ヤブ」も大切な要素ですが、「いちばん大事な要素」は「巣造りをしたり、ねぐらをとる場所」であると書かれています。最も大切な要素、二十字以内、というヒントを手がかりにして文章後半から探し出します。

問四

文章B

の後半で、「鳥の求める条件は多種多様なのです」とありますから、どのような森であれば野鳥が住みやすいのか、さまざまな条件をまとめている部分に注意しながら読んでいきます。「森の構造が複雑であればあるほど、そこにすむ野鳥も多い」という部分に注目すると、野鳥にとつていろいろな要素がある、「複雑な構造の」森に住むのに適していると考えられます。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 「複雑な構造」が森に必要であるという内容が書かれているか
- ② 表記や表現が正しいか

問五

文章Aと

文章B

を読んで、人間と自然との関係について自分の考えを記述する問題です。

文章A

では、自然の前では人間の力はとても及ばないこと、自然を人間の都合で

変えてしまうことよって問題が起こることなどが書かれ、

文章B

では豊かな自然が生物を育むことが書かれています。これらをもとにして、自分なりの自然とのかかわり方を

考えてみましょう。

見たり聞いたことや体験したことがあれば、そこから自分の考えを組み立てると書きやすいかもしれません。また、文章に書かれた自然と人間とのかかわりに対して自分の立場を考えるのもよい方法です。

解答欄に書き始める前に、条件がすべて入っているかどうかを確認するために、書くべきことを短く箇条書きにメモしてみると工夫のしかたもあります。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 人間の自然とのかかわり方について自分の意見が書かれているか
- ② ①に関係する見聞きしたことや体験した内容が書かれているか
- ③ 読み手が考えを補ったり推測したりする必要のない説明であるか
- ④ 答案用紙の使い方が正しいか
- ⑤ 表記や表現が正しいか
- ⑥ 字数制限が守られているか

2

問一

——線部①の後の段落に雑木山がどんな場所であるかが説明されています。「里からは人が、そして山からは獣が出ていて、いりまじりあうところ」と具体的に書かれています。指定された字数に合わないの、「自然の論理と人間の論理とが、交錯しあう場」と抽象的にまとめられている部分を抜き出します。

問二

——線部②「いま、学校はだんだんと杉山に近くなってきた」という部分は、学校を杉山にたとえている比喩表現と考えられます。——線部②の直前に、杉山が「人間の論理」で「将来が設計され、それに向けて現在が管理されている」とあるので、この部分を利用してまとめます。その時に、「計画」「管理」「生徒」の三語をどのようにつなげていくか、何を計画し、何を管理しているかをともに考えます。——線部②の直後には学校でも「管理と計画」があるとありますから、「将来を設計」し「現在が管理」されるのは学校も同じだと考えることができます。設計と似た意味の計画を用いることで意味が通じる言い方になります。文末は「どういうことですか」という問いかけに対応するように、「なったこと」などとしておきましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 「生徒の将来を計画する」という内容が書かれているか
- ② 「現在を管理する」という内容が書かれているか
- ③ 表記や表現が正しいか

問三

文章を通じて筆者は「さまざまのものが、複雑にからま

りあって、世のなかで作られている」にもかかわらず、「学校はだんだんと杉山に近くなってきた」と述べています。しかし、「まっすぐなきみも、曲がりくねったきみも、土の下では、同じように曲がりくねった根を持って、同じ山の土に、からまりあっている」のが「人間の社会」だとも述べています。こうした筆者の考えも参考にしながら、あなた自身が中学校で作りたい人間関係についての考えをまとめてみましょう。問題には「どのような人間関係を作りたいか」「そのような人間関係を作るためにはどんなことが必要か」「それだけの理由」という四つの書くべき内容があります。書き忘れ、内容の重複がないようにそれぞれについて簡条書きにするなど工夫しておくといよいでしょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 中学校で作りたい人間関係について自分の考えが書かれているか
- ② ①の理由が書かれているか
- ③ ①のような人間関係を作るために必要なことが書かれているか
- ④ ③の理由が書かれているか
- ⑤ 読み手が考えを補ったり推測したりする必要のない説明であるか
- ⑥ 答案用紙の使い方が正しいか
- ⑦ 表記や表現が正しいか
- ⑧ 字数制限が守られているか

